

石川県の津波対策事業等について

作成した津波浸水想定区域図を踏まえ、県民の防災意識啓発や避難体制の整備など津波防災対策の強化を図る。

1 津波ハザードマップ作成支援

- ・市町防災担当者等を対象に専門家による津波防災に関する講習を実施
- ・津波浸水想定区域図に関する説明会を開催するなど、市町のハザードマップ作成を技術的に支援

2 ハザードマップを活用した津波避難対策への支援

- (1) モデル地区における津波避難対策への支援
モデル地区を指定し、ハザードマップを活用して住民が主体となって行う津波避難訓練に対して、専門的な知識をもったアドバイザーを派遣し、指導・助言を行う。
- (2) モデル地区の取組成果を県内全域に普及
 - ・モデル地区の取組成果及び全国の先進事例等を取りまとめた事例集を作成し、市町、自主防災組織等へ配布
 - ・市町職員や自主防災組織等を対象とした発表会の開催

3 県民の防災意識の啓発

- (1) 県民津波フォーラムの開催
一般県民、自主防災組織関係者などを対象とした、津波防災の専門家等による講演を加賀地区、能登地区で各1回開催
- (2) 県ホームページに津波浸水想定区域図を掲載
県のホームページに津波浸水想定区域図を掲載し、防災意識の啓発を図る。

4 地域防災力の強化

- (1) 自主防災組織の活動支援
 - ・既存の自主防災組織の活動内容の充実を図るとともに、新たな自主防災組織の組織化を促進するため、新たに「自主防災組織活動マニュアル」を作成
 - ・未組織町内会の自主防災組織化を図るため、自主防災組織アドバイザーを派遣し、一層の組織化を図る。
 - ・自主防災組織交流大会を開催し、組織相互の交流を促進するとともに各種防災活動体験を通じて、自主防災活動の活性化を図る。
- (2) 防災士の育成
地域の実情をよく理解し、防災の知識を備えたリーダー育成のための研修会の開催
 - ・防災士倍増計画（現在約1500人の防災士を5年間で倍層）
 - ・女性防災士3倍増計画（現在約100人の女性防災士を5年間で3倍増）